

薬学部 薬学科

教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各学科・コースは、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー、以下 CP）に基づき、それぞれの特色を活かした教育方法による授業を行っています。さらに、資格取得科目の充実など、教育方法に工夫を重ねながら、教育内容の向上に取り組んでいます。

【教育方法】

薬学教育モデル・コアカリキュラム及びディプロマ・ポリシーに基づいて、入学から卒業までを通じて一貫性のあるカリキュラムを構築し、卒業時に備えるべき薬剤師としての基本的資質を身に付けるための学習成果基盤型教育を行っています。

【教育の特色ある工夫】

- ・ **低学年からの臨床教育**

臨床能力を卒業時まで最大限に高めるために、初年次に「臨床基礎実習」を導入しています。

- ・ **専門薬剤師につながるアドバンス臨床実習**

救急・集中治療、NST（栄養サポートチーム）、高齢者薬物治療などの高度な専門スキルを修得したい学生は、5年生臨床実習後に「アドバンス臨床実習」（8週間）を選択できます。

- ・ **看護学科との合同授業**

がん患者への関わりなどを共に学びます（4年生）。また、保健師を目指す学生と共に地域保健を学ぶコースを選択できます（1～3年生）。

- ・ **理解を深める能動型学修**

基礎知識の定着、専門知識やスキルの活用方法を理解するために、講義と並行して能動型学修科目を設置しています（1～2年生は「アクティブ・ラーニング」、3～6年生は「症例解析演習」）。

- ・ **シームレスに社会につながる学修**

「セミナー科目」（1～6年生、全9科目）で、薬剤師倫理、コミュニケーション、災害医療、薬育活動、多職種連携、モラルジレンマの克服法などを実践的に学びます。VRやシミュレータを用いた実習や「デジタル医療」（4年生）で、デジタル技術・AIを活用した医療を学びます。

- ・ **薬学研究**

全学年に「薬学研究」の科目を設置し、問題発見・解決能力、文章力・プレゼンテーション能力を醸成しています。

- ・ **初年次教育**

専門科目のベースとなる一部科目は習熟度別にクラス編成しています。また、「アカデミック・スキル」で大学での授業にスムーズに馴染めるように工夫しています。